

みたけ夢だより



5月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

祝50周年！ がんばれ みたけっ子

校長 谷口 佐智子

若葉の候、様々な生き物たちが新しい生命を宿し、動き出しています。5年生の教室のメダカも産卵し、子どもたちが大切に育てています。新年度が始まり、一か月が経ちました。

50周年のお祝いに、校門に大きな横断幕が張られました。横断幕やのぼり旗は、50周年行事実行委員会が作っていただきました。早速、「みたけ台小学校は50周年ですね。うちの子も卒業生ですよ。」とまちの方から声をかけられました。想定通りの宣伝効果です。



本校は、今年度も「幼保小連携推進地区事業校」として、これまでのスタートカリキュラムをさらに推進し、園の生活を小学校へ繋ぐ工夫をしています。あおば学校支援ネットワークの方々や夢教育応援団のボランティア・保護者の方の力も借りて、より多くの目で子どもたちを支援する体制づくりをしています。いつもありがとうございます。

子どもたちは、登校したら支度を終わらせ、自分の好きな場所で好きな時間を過ごしています。お絵描きや折り紙などの場所・歌ったり踊ったりする場所・「カプラ」をする場所。今年からは、けん玉やお手玉などの昔遊びの場所もできました。子どもたちどうしが、自然に協力し合って楽しむ姿があります。そして、この活動の効果なのか、昨年も今年も初めから泣く子が少なく、元気に登校できているように思います。



さらには、連携している園の先生に来校いただき、スタートカリキュラムの様子を見てもらいました。職員が互いに情報共有し、未来へ繋がる「みたけ台小学校の架け橋プログラム」を創っていきたいと思っています。

また、本校は「人権教育実践推進校」や「食育実践推進校」でもあり、今年度が2年目のまとめの年になります。そして、重点研究として、学校図書館教育を基に課題解決する力をつける授業づくりに取り組むことになりました。教職員が子ども観を変える機会であり、これまでの活動を価値づけながら実践しています。子どもたちが主体となって創り上げる、50周年行事に紐づけ、「つないで 広がる みたけのわ」への活動に繋げて、広げていきたいと思っています。この一年間がますます楽しみです。引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



「すぐーる」のタイムラインに「みたけ日記」を載せています。時々、みたけくんが呟きます。「みたけっ子」のがんばっている姿や、教育活動の様子を伝えていきたいと思っています。

よろしければ覗いてみてください。